

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標 1 田原本町に住み続けることができる働く場を創る												
数値目標												
項目	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (H31)	主担当 部局	担当課		
町内事業所従業員数	11,916人	—	11,167人	11,167人 (H28)	11,167人 (H28)	従業員数は減少傾向である。数値は経済センサスH28年調査結果による。	町内産業安定化を図るため従業員数の急激な減少とならないよう努める。また、新たな産業用地を創出、集積し、更なる企業誘致を進めており、新たな雇用の創出を図っている。	11,748人	産業建設部	観光・まちづくり推進課		
誘致企業数	7件 (延べ件数)	8件 (延べ件数)	8件 (延べ件数)	11件 (延べ人数)	11件 (延べ人数)	奈良県の承認を受けた「地域経済牽引事業計画」で承認を受ける必要があり、ハードルが高くなりつつある。また、奨励金に関係なく、企業の立地は進んでいる。	新たな産業用地を創出、集積し、更なる企業誘致を進めている。企業や金融機関に対し、制度の説明会などを実施し、PR機会を増やしていく。	15件 (延べ件数)	産業建設部	観光・まちづくり推進課		
商工会加盟事業者数	578人	568人	549人	550人	535人	町内事業者の廃業数が、開業等新規加盟事業者数を上回っている。また、商工会に加入しない事業者も増えており、商工会加盟数が減少傾向にある。	商工会等の関係機関と連携し、中小企業の振興を図ることによって、商工加盟事業者の減少が緩やかなものになるよう努める。	528人	産業建設部	観光・まちづくり推進課		
施策	K P I									主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(1) 事業者にとって魅力的なまちにする	①雇用創出の視点からの企業誘致、中小企業支援	駅前空き店舗解消数 (累計)	1件	1件	1件	1件	1件	田原本駅前活性化対策補助金の募集をしたが、申請が無かった。	制度の適用範囲を駅周辺から町全域に拡大し、効果的な活用を可能にすることで空き店舗解消へと繋げる。	3件 (延べ件数)	産業建設部	観光・まちづくり推進課
	②都市の生活利便性向上の視点からの商業活性化	中小企業資金融資件数	41件	44件	45件	43件	52件	町内中小企業者の金融の円滑化を図るため、利子補給及び保証料補給を行なう融資制度を実施し、中小企業振興に努めた結果、52件の申請があった。	商工会等の関係機関と連携し、町内中小企業者の金融の円滑化を図り、中小企業振興を推進するため、引き続き制度を実施していく。	50件	産業建設部	観光・まちづくり推進課
③都市魅力向上の支店からの駅前の活性化												

施策	K P I									主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(2) 資源を最大限に活かした産業を育む	①農業の担い手の育成	新規就農者数 (延べ人数)	4人	6人	7人	7人	8人	新たに1件の認定があり、徐々に成果を上げている。今後も目標達成に向けて、農業のPRをする必要がある。	地域の担い手育成のため、継続的に取り組んでいく。	10人	産業建設部	農政土木課
		集落営農組織数	1組織	1組織	1組織	1組織	1組織	農業の効率化のために集落営農組織は有効であるので、今後も相談等があった場合は、積極的にサポートする。	地域の担い手育成のため、継続的に取り組んでいく。	2組織	産業建設部	農政土木課
	②農産物の高付加価値化	農業制度資金活用件数	3件	5件	5件	6件	7件	新たに1件の申請があり、新たに設備投資がなされ、経営基盤の強化に寄与している。	農業経営を行っていく上での設備投資等を行いやすくするように、今後も継続的に取り組んでいく。	5件	産業建設部	農政土木課
		推進する作物の耕作面積	0.5ha	0.5ha	0.7ha	0.7ha	0.7ha	味間いもは連作障害が起こることから、生産地の確保が難しく、生産量の確保が課題である。	味間いもの生産を推進していく。	1.5ha	産業建設部	農政土木課
(3) まちのブランド化につながる産業を育む	①大和野菜等、ブランド力の高い野菜の生産の促進	県で認定された大和野菜の生産品目数	1件	1件	1件	1件	1件	現在認定を受けている味間いものPRに力を入れており、加工品の販売を行っている。新たな伝統野菜認定のために、農産物の歴史的背景などの要件を調査する必要がある。	伝統野菜の抽出、PR活動を行い、ブランド力の強化に取り組む。	2件	産業建設部	農政土木課
	②農畜産物・特産品の周知											
	③唐古・鍵遺跡等の歴史資源を活用したブランドづくり	「楼閣くん」の商標利用件数 (累計)	—	—	11件	54件	57件	H30年度の申請件数は3件にとどまった。H29年度末には町公式キャラクター「タワラモトン」が誕生した。	町公式キャラクターと「楼閣くん」との棲み分けや、唐古・鍵遺跡ロゴマークの周知を行い、利用を促す。	30件 (延べ件数)	教育委員会	文化財保存課

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標2 田原本町への新しいひとの流れをつくる											
数値目標											
項目	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (H31)	主担当 部局	担当課	
社会増減数（転入者数－転出者数）	△183人	△53人	△97人	△58人	△6人	主に転入増により社会増減数が大幅に改善した。 (転入1,139人・転出1,145人)	道の駅等等を活用した町の魅力発信、企業誘致による雇用の場の確保、近居支援等により、引き続き転出抑制に努めると共に、子育てしやすい町として、転入増加に努めていく。	△99人	町長公室	総合政策課	
観光入込客数	19,116人	18,133人	18,140人	9,056人	407,386人	H30.4に道の駅、史跡公園がオープンし、交流人口が増加。	道の駅及び史跡公園やイベントを効果的にPRしていくことで、交流人口の増加を見込み、活性化へと繋げる。	422,000人	産業建設部	観光・まちづくり推進課	
施策	K P I									主担当 部局	担当課
	指標名	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値		
(1) 若い世代が定住しやすい住環境を整備する	①三世同居・近居の促進	三世同居・近居促進（住宅改修等補助）事業の利用件数	—	—	—	4件	募集件数5件に対し、5件の利用があった。ただ、この制度があるので、町への定住へ繋がったわけではないので、制度の見直しが必要。	より定住へ繋がるような制度の見直しが必要であることから、制度設計見直しを検討中。	10件	産業建設部	観光・まちづくり推進課
	②空き家となった住宅の利活用の促進	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	③大阪都心のベッドタウンという強みを生かした定住促進	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2) 豊かな歴史資源を活用する	①唐古・鍵遺跡史跡公園、ミュージアムの充実	唐古・鍵遺跡史跡公園の来場者数	—	—	—	—	54,422人	公園内の遺構展示情報館来館者をカウントする。公園イベントの開催、アプリの公開等があり、目標値以上の来場者数となった。	40,000人	教育委員会	文化財保存課
	②田原本町の歴史・文化的な観光資源の魅力を知らせてもらうイベントの実施	唐古・鍵考古学ミュージアム入館者数	9,116人	8,133人	8,140人	4,056人	14,035人	6月にリニューアルオープンし、また10月には展示品の多くが国の重要文化財指定を受けたことで、目標値以上の来館者となった。	12,000人	教育委員会	文化財保存課
	③観光客の交通利便性の向上	他自治体や民間などと連携した観光等の歴史イベントの実施回数	2件	4件	4件	5件	5件	他自治体や民間との連携に努め、前年度に続き東京まほろば館等で事業を実施し、PRをおこなった。	5件	町長公室	総合政策課
(3) 田原本町の魅力を発信する	①唐古・鍵遺跡史跡公園と連携する道の駅の整備	道の駅の来場者数	—	—	—	—	262,000人	県中央部の道の駅というアクセスの良さから、一定の来場者は確保できた。ただ、土日は来場者は多いものの平日は、伸び悩んでいる。	400,000人	産業建設部	観光・まちづくり推進課
	②道の駅を活用した田原本町の魅力の発信	—	—	—	—	—	—	引き続き、道の駅、史跡公園の活用と誘客に向けた取り組みを指定管理者と共に取組んでいく。	—	—	—

施策	指標名	K P I							目標値	主担当 部局	担当課
		H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針			
③町や地域の取り組みの 発信	奈良県広報誌・新聞・フリーペーパーを活用した発信件数	14件	18件	60件	103件	131件	平成30年度の実績は、前年度の総件数の約1.27倍となった。特に報道機関への投げ込みは、『唐古・鍵遺跡史跡公園』や『道の駅「レスティ 唐古・鍵」』での行事やイベントの情報発信が加わった影響もあり前年度より約1.5倍の増加となり、今回の実績上昇の主要因となっている。 次年度以降の道の駅や史跡公園などの行事等開催は、報道機関への投げ込み件数に影響を及ぼすと考えられるが、それらに頼りすぎることなく、さまざまな分野から情報を収集し、情報発信を弱めないようにすることが必要である。	唐古・鍵遺跡史跡公園や道の駅レスティ 唐古・鍵の催しを伝えていくことはもちろん、町役場の事業やイベントだけでなく、住民の活動にもアンテナをはり、幅広い情報を報道機関等に発信していく。	70件	町長公室	秘書広報課

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる												
数値目標												
項目	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (H31)	主担当 部局	担当課		
合計特殊出生率	1.47	1.27	—	1.27 (H27)	1.27 (H27)	市町村は人口規模も違うため、毎年の数値は参考にならないとされ、5年ごとの発表となった。直近値は平成27年度のもの。	田原本町に定住し、安心して子どもを産み育てられるよう子育て支援施策の展開を模索する。	1.59	住民福祉部	こども未来課		
施策	K P I									主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(1) 就労・結婚・出産を希望する若者を応援する	①町居住・町出身の若者の就職支援	雇用促進奨励金の交付対象となった従業員数(累計)	1人	1人	1人	1人	1人	H30年度の交付はなし。実際に雇用されているにもかかわらず、届出のないものもあることから、更なる周知が必要。	企業に対し、本制度についてより積極的な周知を行い、町在住者の雇用促進に努める。	10人(延べ人数)	産業建設部	観光・まちづくり推進課
	②若者世代の活発な交流の促進	新規就農者数(累計)(再掲)	4人	6人	7人	7人	8人	新たに1件の認定があり、徐々に成果を上げている。今後も目標達成に向けて、農業のPRをする必要がある。	地域の担い手育成のため、継続的に取り組んでいく。	10人	産業建設部	農政土木課
	③不妊に悩む夫婦への支援	一般不妊治療助成の実施件数	—	—	—	18件	31件	実施2年目となり、施策も認知されてきたことにより順調に利用者が増えてきている。治療を受けても助成申請しないカップルもいると推察されるので、安心して利用される制度を目指す。	平成31年(令和元年)度より不育症治療も助成対象に加え、赤ちゃんを望むカップルの経済的支援を継続していく。	35件	住民福祉部	こども未来課
(2) 子育て環境の充実をはかる	①子育ての経済的な負担の軽減	多子世帯の保育所利用者数	86人	—	79人	76人	86人	国の幼児教育の無償化の施策が進む中で、目標値をこえて多子世帯の保育所利用が増えている。	平成31年(令和元年)10月から実施される幼児教育の無償化による経済的負担の軽減に加えて独自の支援を検討していく。	74人	住民福祉部	こども未来課
	②保育サービスの充実	地域子育て支援センター利用者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	③きめ細やかな子育てサポートの実施	—	9,376人	8,484人	6,710人	6,215人	9,217人	平成30年度からは事業を拡大し、基本事業2か所、出張ひろば1か所の実施ができたことにより利用者の増が認められた。	担当課と受託事業者との連携を深め、子育て親子のニーズを汲みながら、イベントや研修などの企画を工夫し、利用者が安心して子育てができる拠点となるよう事業の充実を図る。	10,171人	住民福祉部	こども未来課

施策	K P I									主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(3) 田原本町らしい教育環境を創る	①子どもたちの豊かな人間性の育成	町立幼稚園就園率	48.40%	49.03%	48.64%	48.71%	46.12%	保護者の就労形態の変化に伴う、「預かり保育」の充実及び「認定こども園」化の検討開始。	平野幼稚園を平成31年度より認定こども園として開園する。	53.00%	教育委員会	教育総務課
	②地域・歴史の学びを通じた、子どもたちの地域への愛着の醸成	おはなし会への参加者数	922人	887人	710人	795人	817人	定期開催しているおはなし会の参加者は減少したが、イベント等を行ったため、前年度に比べると全体的に参加者は増加した。	魅力的なイベントを行い、参加を促していく。	1,000人	教育委員会	図書館
	③経済的理由により就学が困難な児童・生徒・保護者の支援	地域・歴史の学び学習実施学年	1学年	1学年	1学年	1学年	2学年	6年生に加え、3年生若しくは4年生を対象に総合的な学習の時間に弥生体験学習を取り入れた。	副読本「弥生時代をまるごと体験しよう」の活用や唐古・鍵遺跡史跡公園を活用し弥生時代の体験を深める。	3学年	教育委員会	教育総務課

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する												
数値目標										主担当 部局	担当課	
項目	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (H31)				
自治会加入率	93%	93%	92%	92%	92%	自治連合会の研修や、各種補助金の交付等、自治会活動の魅力向上に努めたが、加入率は横ばいとなった。	引き続き、自治会組織・運営を強化し、活動を活性化させ、加入率が増となるように転入者への加入を促す。	95%	総務部	総務課		
65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人の割合	84%	84%	84%	84%	84%	一部の人が事業対象者へ移行し、介護予防事業を拡大しているものの認定率はほぼ横ばいである。	要介護状態にならないためにも地域でのいきいき百歳体操をさらに広げていく。	88%	住民福祉部	長寿介護課		
施策	K P I									主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(1) 地域コミュニティの強化をはかる	①地域課題の解決を図る自治会の育成・支援	田原本青垣生涯学習センター・弥生の里ホールの利用件数	4,374件	4,705件	4,644件	4,669件	4,690件	住民や各種団体の学習活動の場として、また学習成果の発表の場として活用した結果、利用件数が増加した。	利用者の活動を促進するため、学びの場だけでなく、そこで得た知識や技術等の成果を発表する場を提供する。	4,500件	教育委員会	生涯教育課
	②文化やスポーツ等を通じた地域活動の支援	町内の体育施設の利用件数	4,583件	4,472件	4,879件	4,757件	4,560件	住民の健康増進や体力向上を目指すために、スポーツ拠点として活用している。前年度と比べ4.1%の減となっている。	各施設の老朽化が進んでいるため計画的に改善し、施設の安全を各保していく。また、利用件数の増加にもつなげたい。	5,000件	教育委員会	生涯教育課

施策	指標名	K P I						評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値	主担当 部局	担当課
		H26	H27	H28	H29	直近値 (H30)						
(2) 誰もが安心して暮らせるまちをつくる	①日常的な健康づくりや急病への対応など住民の健康支援	介護予防サポーター・認知症サポーターの養成人数	32人	768人	416人	609人	406人	介護予防リーダーは地域によっては活動は難しく養成していない。	今後、住民主体としていきいき百歳体操を広めていく。認知症サポーター養成は継続していく。	800人	住民福祉部	長寿介護課
	②高齢者が生き生きとした生活を送るための支援	シルバー人材センター登録者数	307人	280人	277人	272人	267人	会員数が減少し続けている。	センター事業の積極的PR活動と会員数の拡大に努め活力ある地域社会づくりに向けた事業の展開をしていく。	390人	住民福祉部	長寿介護課
	③防犯・防災体制の強化によるまちの安全の確保	自主防災組織登録数	60団体	69団体	73団体	74団体	76団体	自主防災組織未結成の自治会に対し、自主防災組織の重要性と補助金案内を行うことにより増加した。	イベントを通じた啓発活動を積極的に行うとともに、未設置団体に設置できない理由を調査し対策を講じる。	87団体	総務部	防災課
		LED防犯灯への交換率	33%	56%	78%	100%	100%	目標通り自治会所有防犯灯の蛍光灯からLEDへの交換が終了した。	目標通り自治会所有防犯灯の蛍光灯からLEDへの交換が終了した。	100%	総務部	総務課
		乗合タクシー「ももたろう号」利用者数	4,700人	5,298人	5,731人	5,874人	1,549人	7月よりタワラモンタクシー利用料金助成制度へ移行したため、4月～6月の三ヶ月間の実績となっている。実績自体は微増であった。	H29年度に実施したアンケート調査等を踏まえ、H30年7月からはタワラモンタクシー利用料金助成制度に切り替え、町内の交通弱者の移動手段確保に努めていく。	6,000人	町長公室	総合政策課
		タワラモンタクシー利用実人数	-	-	-	-	2,338人	従来制度であるももたろう号のH29年度実利用者数(368人)と比較すると大幅な増加となり、多くの方に利用いただくことができた。	令和元年度にアンケート調査を行い、より使いやすい制度へ向けて検討を行うと共に、さらなる周知を図ることで、利用者の増加に努めていく。	2,000人	町長公室	総合政策課